

<活動の様子>



プレイベント「こどもが映画をつくること」



前夜祭『キッド』上映



まつやまこども映画祭メイン会場



上映後ティーチン（トーク）の様子

事業名 まつやまこども映画祭

<目的>

映画鑑賞を通して「子どもの権利」を考える。「子どもの権利」のことを市民に認識してもらい考えてもらう。また、私達の自主上映活動への理解、他団体との協働で成熟にもつなげる。

<事業内容>

日時：平成30年

7月8日（日）13時～ プレイベント「こどもが映画をつくること」会場：愛媛県美術館 20名参加。

8月3日（金）18時半～ 前夜祭『キッド』野外上映 会場：みんなのひろば 約100名参加

■告知活動の一環も兼ねたプレイベントとして、「こども映画教室」の代表・土肥悦子さんを招き、「大人は手出し口出ししない」で、子どもが作る活動の紹介をする「こどもが映画をつくること」と題した講演を行い、前夜祭として野外上映を行った。

8月4日（土）映画祭 会場：コムズ大会議室

10時～『いのちのはじまり：子育てが未来をつくる』『わたしたち』『小さな園の大きな奇跡』『夜明け前の子どもたち』上映。延べ117名参加

8月5日（日）10時～『いただきます みそをつくる こどもたち』『KUBO 二本の弦の秘密』上映。延べ98名参加

■子どもを主人公とした映画を6作品上映し、各上映後に作品テーマに合った地元で活動を行っているゲスト講師5名と、「子どもの権利」を意識しながら、参加者を交えた感想交流（ティーチン）を行った。『いのちのはじまり』『いただきます』は乳幼児も入場できる「きがねなし上映」を行った。

■一日切れ間ない参加もできるように、場内で飲食できる飲食販売「きねまるしえ」を行った。

参加費：一般前売券1,000円（当日料金1,200円）・18才未満無料

共催：愛媛ユニセフ協会 後援：松山市、松山市教育委員会、松山市文化協会、松山市社会福祉協議会

<市民の参画や他団体との連携>

共催の愛媛県ユニセフ協会から、宣伝や当日の人員、子どもの権利条約の冊子配布の協力を得られた。

聖カタリナ大学等、他団体や個人等、会員や外部の協力参加が得られた。

テーマの考察を深めることのできる松山市在住の各分野のゲストを招致してティーチン（トーク）することができた。

<市民に対するPR>

「子どもの権利」を意識して考えることは、今だけでなく未来を考えることです。

今後も続けていくので参加してほしい。